

関係者との意見交換の場について

1 意見交換の実施状況

- 期間・回数：令和6年12月16日（月）～令和7年2月19日（水）、延べ52回開催
 実施形式：市民等向けは公開、その他は非公開で実施
 実施対象：【医療】医療関係者（山形大学医学部、県医師会、県看護協会、県薬剤師会、寒河江市西村山郡医師会）
 【急性】山形市内急性期病院（県立中央病院、山形市立病院済生館、山形済生病院）
 【周辺】周辺病院（西川町立病院、朝日町立病院、北村山公立病院）
 【救急】救急業務関係者（西村山広域行政事務組合消防本部）
 【介護】介護福祉関係者（西村山地域の介護福祉事業所、地域包括支援センター）
 【職員】現2病院職員（県立河北病院、寒河江市立病院）
 【市民】寒河江市民・寒河江市町会長連合会（市内7会場）※市民向けは公開
 【4町】西村山4町（西川町、河北町、朝日町、大江町）
 【推薦】西村山4町推薦団体（「地域医療と県立河北病院を考える会」）※公開
 【会議】各種会議（西川町病院改革評価委員会、山形県保健医療推進協議会、寒河江市国民健康保険運営協議会）※前2会議は公開

2 主な意見と対応方針

- 対応状況 … ◎：新病院整備に関する具体的な御意見。基本計画の策定等において十分検討していく。
 ○：基本構想案の内容に対する賛成意見。実現に向けてしっかりと取り組んでいく。
 ▲：基本構想案の内容に一部異議がある。理解を得られるよう丁寧に説明していく。
 ★：意見を踏まえ、基本構想案を修正する。

基本構想第1章「西村山地域内外の医療環境」関連

1	人手不足や医師不足の中、実現可能か。人口減少を見越した計画である必要がある。【市民】	○
2	人口減少を見据え早急に統合再編するべき。【市民】	○

基本構想第2章「医療提供体制の現状・課題」関連

3	町立2病院の運営が厳しくなるのは明らか。統合の視点は引き続き必要。【医療】	◎
4	統合再編をする前に、現2病院の現状・課題をきちんと総括をするべき。【市民】	◎

基本構想第3章「新病院の目指す方向性」関連

[求められる役割]

5	安全で利用しやすく信頼される病院にしてほしい。【市民】	○
6	新病院の立ち位置はしっかりと整理されている。【急性】	○
7	新病院の果たす役割は、新たな地域医療構想とも整合性を取る必要がある。【急性】	◎
8	地域の開業医の減少を考えれば新病院が外来診療機能を確保することは重要。【周辺】	○
9	救急は、現実的には新病院で対応しきれない西村山の患者を引き続き当院で対応すると想定されるため、山形市内の二次救急医療機関とも引き続き連携していく旨を構想に明記してほしい。【急性】	★
10	救命後も退院まで一定の時間を要する患者（腹膜炎等）の受入れに期待する。【急性】	◎
11	地域包括ケアのあり方について介護福祉関係者も検討段階から参加させてほしい。【介護】	◎
12	新病院への期待は高いが、現2病院の医師の意識と乖離が生じないよう配慮が必要。【急性】	○

[診療機能]

13	総合診療医の活躍に期待する。【医療】【急性】【周辺】【介護】【市民】	○
14	総合診療科がハブとして機能することを期待する。総合診療医に何でも丸投げされてしまわないよう、総合診療の目指すものを関係者間でしっかりと共有することが重要。【周辺】	○
15	西村山地域の搬送困難事例は県内でも最も多い。休日・夜間の体制は未定、総合診療科はトリアージするに過ぎないので、救急機能の強化に向けた実効性ある対応策の検討が必要。【周辺】	◎

16	休日・夜間の救急患者の受入体制を充実してほしい。【市民】	○
17	特に夜間の搬送困難事例を減らせるよう、山形市内の基幹病院と救急の連携をお願いしたい。【市民】	○
18	救急患者の「下り搬送」の受入れに期待する。【急性】	○
19	最も期待するのは高齢者救急の受入強化。可能な限り地元で対応してほしい。【医療】【急性】	○
20	明らかな脳疾患だと判断がつかない頭痛やめまい等について、救急で診られる専門医がないのであれば遠隔診療・画像読影を取り入れる検討をしてほしい。【医療】	◎
21	整形は現病院で手術してもらえないので、新病院では収益のためにも手術可能な体制を望む。【医療】	○
22	現状で西村山地域に戻せていない外科領域の回復期の患者の受入れの充実を期待する。【医療】	◎
23	リハビリの充実をお願いしたい。【市民】	○
24	人工透析は専門医確保が難しいため民間透析医療機関と役割分担を図る考えは妥当。【周辺】	○
25	人工透析は、患者も減少しており民間病院等で対応できるのであれば新病院で対応しなくても良い。導入透析は現在同様、山形市内の病院での対応が良い。【医療】	○
26	近隣の診療所が閉院したので、訪問医療の充実をお願いしたい。【市民】	○
27	診療科で受診先を分ける患者も多く、新病院・町立病院の紹介・逆紹介を進めてほしい。【介護】	○
28	高齢者施設からの入院患者は町立病院が連携して受け入れていけるよう検討したい。【周辺】	○
29	山形市の急性期医療機関等との役割分担、連携の在り方、地域との医療連携のあり方について、明確なビジョンと連携強化の具体的手法を検討するよう要望する。【4町】	○

〔診療科構成・病床規模〕

30	統合に際して民間に任せられる部分はスリム化してはどうか。【医療】【市民】	◎
31	現2病院の病床稼働率から考えれば、病床規模を縮小するのは妥当と考える。【医療】	○
32	140～155床の病床規模であれば急性期病棟は1つとなり、バックアップのための病床も少なくなるので救急患者の受入れも制約を受ける。現場の意見を踏まえ今後精査する必要がある。【周辺】	◎

〔継続検討事項に係る検証結果と対応方針（分娩、小児救急、休日・夜間診療の役割分担）〕

33	「分娩」は、山形市内の分娩施設での受入れが十分可能であり、セミオープンシステムを活用する とした結論は妥当。早く産気づいた場合も救急車で搬送できる距離である。【医療】	○
34	乳幼児の子育てや里帰り出産等の受け皿となる外来機能を確保してほしい。【推薦】	○
35	「小児救急」は、小児科医が不足する中、大きな病院でさえカバーし合い何とか対応している状況。 新病院で同様の機能を持つことは困難。着実な対応を目指すとした結論は妥当と考える。【医療】	○
36	小児科医の不在時にも総合診療医が協力して診療していく体制が望ましい。【医療】	○
37	小児科医は1人体制では負担が大きく持たない。3人体制が基本。【医療】	○
38	「休日・夜間診療」は、休日診療所併設が目的化しないよう実効性のある対応を期待する。【医療】	○
39	子育て世代としては山形市内まで行かなくて済むよう休日・夜間診療を実施してほしい。【市民】	○
40	「分娩」は、産科セミオープンシステムでの新病院との連携についても協力検討したい。【急性】	○
41	総合病院なので分娩に対応してほしい。小児科も常勤医師を目標にしてはどうか。【市民】	▲
42	「分娩」は、開業医の減少でセミオープンシステムが継続できるか不安。【市民】【推薦】	▲
43	安心して妊娠、出産、子育てができる環境整備に向け、常勤の小児科医の配置、産科外来の強化など、少子化問題への政策的見地に立った診療機能の重点的強化を要望する。【4町】	▲

基本構想第4章「施設整備の基本方針」関連

〔施設整備方針〕

44	病院らしくない、楽しくワクワクする病院にしてほしい。【市民】	◎
45	スタッフが集まるようなきれいな病院、明るくおしゃれな病院にしてほしい。【市民】	◎
46	温泉やサウナなどスタッフがくつろげるスペースをつくってほしい。【市民】	◎
47	カフェやジム、温泉施設、保育施設など病院利用者以外も利用できる施設がほしい。【市民】	◎

48	地域内外の住民や医療従事者が交流できるオープンなスペースが病院内にほしい。【市民】	◎
49	お金がかからないよう、奇抜なデザインでなく四角の病院が良い。【市民】	◎
50	ヘリポートの整備を検討してほしい。【市民】	◎
51	災害が多くなっているため、災害対策や地域住民の命を守るための備えも必要。【市民】	◎
52	若い世代からも選ばれるような充実した医療技術・設備を導入してほしい。【市民】	◎
53	夜間急患時に対応できるよう遠隔診断システムを導入してはどうか。【医療】	◎
54	電子処方箋やマイナンバーを通じた医療連携にも対応するシステム整備をお願いしたい。【医療】	◎
55	コメディカルを含む関係者が緊急時にカルテを共有できるシステムを構築してほしい。【医療】	◎
56	円滑な入退院のため、新病院と介護施設で診療・介護記録が共有できれば良い。【介護】	◎
57	県立河北病院が地域薬局と行っているような連携体制は新病院でも維持してほしい。【医療】	◎
58	オンライン診療は薬局との処方箋受渡しや服薬指導等に課題があり慎重に検討してほしい。【医療】	◎
59	外来の待ち時間の縮減、予約時に待ち時間の目安が分かるような対策をお願いしたい。【市民】	◎
60	病院食が美味しい病院にしてほしい。【市民】	◎
61	介護現場の外国人労働者が増えているため、外国人の受診体制を整備してほしい。【介護】	◎

【施設規模】

62	財政的に負担がかからない規模にしてほしい。【市民】	◎
63	医療情報システムは掛かり増しすると見込まれるため事業費は今後精査が必要ではないか。【医療】	◎
64	降雪もあるため、広い駐車場を確保してほしい。【市民】【会議】	◎

【立地条件等】

65	西村山全体の交通アクセスを重視してほしい。【医療】【市民】	◎
66	三次医療機関と連携しやすいように高速道路へのアクセスの良さを重視してほしい。【市民】	◎
67	整備費用を抑えられるかどうかを重視してほしい。【市民】【推薦】	◎
68	県立新庄病院の建替えの際、建設場所の決定後に浸水想定区域が変更となり対策費用が大幅に増えた経過がある。そうならないよう綿密に調査してほしい。【医療】	◎
69	活断層のある場所は避けてほしい。【市民】	◎
70	人口規模から西・北村山は1病院で足りるとする考え方もあるが、新病院が西村山地域を基本的な診療エリアとする考え方は理解する。最上川を境として患者の行き来は限定的なので、新病院が寒河江市内に立地しても病院にとって大きな影響はない。【周辺】	○
71	西・北村山の新病院がお互いに整合性の取れた患者予測を立てる必要がある。立地が決まった段階で患者の意向調査ができれば、受療行動の変化予測や自治体の通院支援の検討にも役立つ。【周辺】	◎
72	住民の往来がある北村山地域北西部に配慮すべき。北村山公立病院と意見交換してほしい。【推薦】	◎
73	県と西村山1市4町が協力して高齢者の通院手段を確保してほしい。【医療】	◎
74	新病院の建設と併せて新しい街づくりも進めてほしい。【市民】	◎
75	現2病院の跡地の利活用についても併せて考えてほしい。【推薦】	◎
76	現状ベースではなく将来の人口や患者の動向等を見据えた視点としてほしい。【医療】	◎
77	建設候補地の絞り込みについて住民に分かりやすく説明してほしい。【市民】【推薦】	◎
78	建設候補地の絞り込みを行う際は住民アンケートを取ってほしい。【市民】	◎
79	建設候補地の評価基準を公表してほしい。【市民】【推薦】	◎
80	建設候補内の絞り込み、建設予定地の決定に当たっては、検討の各段階で利用者の視点に立った十分な検討を行うとともに、検討結果のみならず選定経過など説明を尽くすよう要望する。【4町】	◎

基本構想第5章「整備事業方針」関連

【整備事業費の概算】

81	公立3病院の建設時期の重複が建築費にどう影響するか注視する必要がある。【急性】	◎
----	---	---

[目標整備スケジュール]

82	整備検討スケジュールに関して、手順を踏んで透明性を高めた中で進めてほしい。【推薦】	◎
83	基本計画の検討組織には新病院開院後も在籍する見込みの職員を入れてほしい。【職員】	◎
84	今後も説明会や進捗状況を知る機会があると良い。【市民】	◎
85	開院時期が遅れないように進めてほしい。【市民】	◎
86	適時的確な情報提供を行い、地域・患者の声を丁寧に把握するよう要望する。【4町】	◎

基本構想第6章「運営のあり方」関連

[運営形態の方向性]

87	物価高騰や財政規模の縮小の中で黒字経営を目指せるのか不安である。【医療】	◎
----	--------------------------------------	---

[費用負担の考え方]

88	現病院への繰出金があるわけだが、新病院のランニングコストとしての繰出金がこれまで以上に増えるような心配はないのか。【市民】	◎
89	運営母体に参加した場合の財政負担はどの程度なのか説明してほしい。【推薦】	◎
90	4町と一緒に運営母体に参画しない場合、参画自治体の財政負担が重くなるのではないのか。【4町】	◎
91	新病院の建設費と運営費、国の財政措置、構成団体の財政負担の見通しなど、運営母体への参画の意思決定に必要な判断材料を提示するよう要望する。【4町】	◎

[人員計画]

92	行政・大学が協力して、開院までに計画的に医師を養成し県内定着を促していくことが必要。【医療】	◎
93	若手医師の確保のためには、一定の手術実績があり研修を受けられることが大事。【医療】【周辺】	○
94	非常勤医師の派遣を受けるためには、充実した手当や福利厚生も必要。【医療】	◎
95	医師の派遣元に対し、内視鏡のスペース拡充などPRポイントを明確にすることも必要。【医療】	◎
96	基幹病院に勤務経験のあるベテラン医師のセカンドキャリアの採用に注力してはどうか。【急性】	◎
97	県立病院の医師を半年のローテーションで派遣する等の医師確保策を検討してほしい。【急性】	◎
98	大学病院や県立中央病院と連携した人材確保、専門医研修の実効ある対策を要望する。【4町】	◎
99	専門医を確保するためにも、県として地域枠の増など考えてほしい。【医療】	◎
100	リハビリの充実に向け、リハビリ専門医を育成確保する必要がある。【医療】	◎
101	現病院に呼吸器内科の常勤医がない。せめて非常勤は継続してほしい。【医療】	◎
102	医師不足対策として麻酔等の特定行為が可能な認定看護師を計画的に育成してはどうか。【医療】	◎
103	最新の医療知識と技術を持つ医師、常勤の医師を多く確保してほしい。【市民】	◎
104	看護師確保のためには、給与水準や職位等の待遇面の検討が重要。【医療】	◎
105	高いレベルのケアが受けられる病院になるよう、看護師の育成を強化してほしい。【市民】	◎
106	回復期病棟でリハビリを365日実施することも想定されるので人員拡充が必要ではないか。【職員】	◎
107	薬剤師の採用は、他医療機関や調剤薬局の採用に影響が出ないよう配慮してほしい。【医療】	◎
108	県立と市立で職員の賃金の差などの違いがあるので上手く折り合いをつけてほしい。【市民】	◎
109	持続可能な経営のため、診療報酬の加算が取れる人員配置計画を検討すべき。【職員】	◎
110	受診を断る事がないよう、職員の意識改革をすべき。【市民】	◎
111	ニーズが増えているCT・MRIの読影について、外部委託も選択肢にしてはどうか。【医療】	◎
112	救急救命士が知識・技術向上のため県立河北病院で実施している院内実習は継続してほしい。【救急】	◎

[その他運営体制に関する検討課題（地域医療連携推進法人の活用可能性の検討）]

113	町立病院と新病院で人事交流しながら人員確保できるような連携があれば良い。【周辺】	◎
114	町立病院に総合診療医を集約し在宅医療を中心に行い、新病院には専門医を集約させて相互に役割分担・連携することも考えられるのではないのか。【医療】	◎